

SDGs とは？



目標 6 安全な水とトイレを世界中に

すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する

水道の設備がない暮らしをしている人は 22 億人です。トイレがなく、道ばたや草むらなど屋外で用を足す人は 6 億 7300 万人です。



SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は、「誰一人取り残さない (leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015 年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」の中で掲げられました。2030 年を達成年限とし、17 のゴールと 169 のターゲットから構成されています。



認知症地域支援推進員のつづやき 37

「心配なもの忘れ」はないですか？

「財布を置いた場所が思い出せない」「テレビの俳優さんの名前が思い出せない」「自分は認知症の初期症状ではないかと不安になったことはありませんか？」
 忘れたことを自覚していて、ヒントがあれば思い出せる状態は「加齢によるもの忘れ」と考えられ、脳の活性化に取り組むチャンスです。一方、本人は自覚していないが「体験した物事をすっぱり忘れてしまう」「同じことを何度も聞く」「今までできていたことができなくなった」などの変化は「認知症によるもの忘れ」が疑われます。認知症は病名ではなく、いろいろな原因で脳の神経細胞の働きが悪くなるため、さまざまな障害が起こり生活に支障が出る状態のことを言います。
 認知症の種類によって、原因や症状、改善策も違います。認知症に似た症状を有する病気が隠れていることもあります。まず、ご家族や友人が「あれ？いつもと違う？」と気づいてくれることが大切です。
 認知症の相談、医療や介護の相談など、地域包括支援センターやお近くの認知症地域支援推進員にご相談ください。



私たちはここにいます！

認知症地域支援推進員配置施設

- 地域包括支援センター ☎68-8941
- 利根町保健福祉センター ☎68-8291
- 複合施設 響 ☎61-8500
- 居宅介護支援事業所 介護老人保健施設もえぎ野 ☎84-6081



男女共同参画ってなあに？ Part 89

利根町男女共同参画週間パネル展とアンケートを実施しました！

毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」として、全国で男女共同参画について理解を深める様々な活動が行われています。

利根町では、今年の内閣府のキャッチフレーズ「女だから、男だから、ではなく、私だから、の時代へ。」に関連付けて、男女共同参画週間パネル展とアンケートを実施しました。



パネル展は、男女の平等感について日本や利根町の現状、テレビCMを例とした性別役割意識の時代変遷などを掲示しました。普段の生活や考え方の中から、男女共同参画に繋がる事例を紹介し、身近にある男女共同参画に気づききっかけになるよう実施をいたしました。

男女共同参画社会とは、男性も女性も意欲に応じて、仕事・家庭・地域社会あらゆる分野で活躍できる社会のことです。

男女共同参画社会の実現のためには、制度を整えるのみでなく、一人一人の考え方も変わっていかねばなりません。

一人一人が自分らしく生きられる、柔軟な考え方でお互いを思いやる気持ちを持った社会を作っていくことが必要です。

問い合わせ先

政策企画課 政策企画係 ☎68-2211 (内線333)



福祉コラム 知って欲しいなマークの意味 Vol. 8

障害者に関するマークについて【このマークを知っていますか？】

障害者に配慮した施設であることや、それぞれの障害について分かりやすく表示するため、いろいろなマークや表示があります。

右記のマークをご存知でしょうか？
 世界盲人連合で1984年に制定された世界共通のマークです。
 視覚障害者の安全やバリアフリーに考慮した建物、設備、機器などに付けられています。
 信号機や国際点字郵便物、書籍などで身近に見かけるマークです。
 このマークを見かけた場合には、視覚障害者の利用への配慮について、ご理解、ご協力をお願いします。



盲人のための国際シンボルマーク

問い合わせ先

社会福祉法人 日本盲人福祉委員会 ☎03-5291-7885